

東北大学法学部 AO 入試(総合型選抜)Ⅱ期合格者 各位

東北大学法学部長

久保野 恵美子

皆さんへの入学前教育についてお知らせ

この度は、令和7年度東北大学法学部 AO 入試（総合型選抜）Ⅱ期に合格され、おめでとうございます。

さて本学部では、AO 入試（総合型選抜）Ⅱ期合格者に対し、入学前の教育に関して次のようなことをお願いし、あるいはお勧めすることになっています。

早めに大学合格を決められた皆さんが、残された高校生活の中でどのような学習を行うかによって、来春入学以降、本学での学びの充実度に大きな違いが生じてくることは、皆さん自身がお承知のことと思います。高校を卒業するまで皆さんは当然まだ高校生であり、高校での授業や生活を最も大切にされるべきことは言うまでもありませんが、そのかわりで、既に具体的に見えている大学での学びへの接続として、本学部がお願いし、あるいはお勧めする入学前教育を積極的に活用されることを希望します。

最後になりましたが、来年 4 月のご入学を心からお待ちしております。

記

I. 必ず行っていただくもの

- ・東北大学全学共通プログラムとしての「英語 TOEFL ITP」学習（アルク社の教材を利用）詳しくは別紙 1 ほかをご覧ください。

II. 本学部が、AO 入試Ⅱ期合格者として今のうちに行っておくことをお勧めするもの 別紙 2 をご覧ください。

※ なお、他の学部においては、AO 入試Ⅱ期合格者に対する「入学前教育ガイダンス」などのオリエンテーションを開催するところがありますが、法学部ではこれを行いませんのでご承知ください。

※※ 東北大学法学部は、2019 年度から「学部・修士 5 年一貫国際コース」をスタートさせました。英語力を重視した入試に合格された皆さんに、特にお勧めしたいプログラムです。下記の本学部ホームページを今からご覧になり、入学後は積極的にこれに参加されることを期待しています。

<http://www.law.tohoku.ac.jp/global/internationalprograms/>

※※※ 本学部は「法曹コース」を実施しています。下記のホームページをご覧ください。

<http://www.law.tohoku.ac.jp/education/3plus2course/>

東北大学全学共通プログラムとしての「英語 TOEFL ITP」の学習案内

TOEFL®テストはグローバルスタンダードの英語テストとして世界各国の教育機関等で利用されています。この国際的に認められた TOEFL®テストで皆さんの英語能力を判定し、特に英語コミュニケーション能力の向上に役立てることが TOEFL ITP®テスト実施のねらいです。

また東北大学では、1年次の早々に全学生が TOEFL ITP テストを受験することになっています。

そこで東北大学は、AO 入試Ⅱ期に合格した皆さん全員に、東北大学全学共通プログラムとして以下の教材を配付し、入学前教育として TOEFL ITP テストの受験に備えた学習をしていただくことにしています。

テキストを熟読するとともに、以下を参照してください。

1. ガイダンスの受講

学習を開始するのに先立って、まずは映像によるガイダンスを受講してください。

東北大学インターネットスクール (ISTU) にアクセスし、P19の「東北大 ID 確認ページについて」を確認のうえ、事前ガイダンスの映像教材を視聴してください。ISTU マイページの英字氏名は、本人のご使用と異なっていることがあります、ご了承願います。

※ ISTU/DC システム <https://istu4g.dc.tohoku.ac.jp/>

2. 『完全攻略！ TOEFL ITP テスト』の学習フロー

ガイダンスが終了したら、各パートの要点に注意し、高校までの受験英語との違いを意識しながら進めてください。以下がテキストの構成と所要時間の目安です。

Chapter1	TOEFL ITP とは	1 時間
Chapter2	セクションの概要とサンプル問題	1 時間
Chapter3	ITP 模擬試験	2 時間
Chapter4	解答と解説	4 時間
Chapter5	セクション別学習法	2 時間
Chapter6	ITP 攻略法 30	5～8 時間
Chapter7	丸わかり英文法	4～6 時間
Chapter8	重要語句 150	1～3 時間
		計 20～27 時間

以上の目安を参考に、1月下旬までには完了するように努めましょう。

3. レポートの提出

「Chapter3 ITP 模擬試験」を行い、自己採点をしたうえで、別紙「自己採点シート」に必要事項を記入したものを、2025年3月7日（金）までに、下記法学部教務係にメールで送付してください。

アルク社からのアドバイスを入れたフィードバックを、4月を目途に送付します。

【提出先】東北大学法学部教務係 (law-kyom@grp.tohoku.ac.jp)

※1. 「自己採点シート」のデータファイルは、法学部教務係よりメールでお送りします。

2. 提出時のファイル名には、受験番号・氏名（漢字）を明記してください。

4. 目標点の設定

本テキストの「Chapter1 TOEFL ITP とは」にも、ITP と iBT の違いやスコアの関係などが説明されています。まずはこれを十分に理解してください。

以上から、おおよそ550点が、学部レベルで海外に留学するための指標とされていることがわかりますが、特に英語力を重視した AO 入試Ⅱ期（法学部）に合格された皆さんは、さらに1ランク上の、550～600点を目標に励んでみましょう。

『完全攻略！ TOEFL ITP®テスト』自己採点シート



氏名: _____

実施日: _____

『完全攻略！ TOEFL ITP®テスト』模擬試験をリスニング約35分、文法セクション25分、リーディングセクション55分

合計 1 時間55分で問題を解き、P90「正答一覧」を参照して正答数を記入してください。

そしてP91「換算表」にそって換算点レンジを算出し、以下のコメントと共に記入してください。

Section 1			自分でできたと思う点	改善が必要と思う点
Part A	/	30		
Part B	/	8		
Part C	/	12		
Section 1 合計	/	50	換算点レンジ (-)	*換算点レンジは91ページ参照 (印刷して使用する場合もあるため、自動計算ではありません。)

Section 2			自分でできたと思う点	改善が必要と思う点
Structure	/	15		
Written Expression	/	25		
Section 2 合計	/	40	換算点レンジ (-)	*換算点レンジは91ページ参照 (印刷して使用する場合もあるため、自動計算ではありません。)

Section 3			自分で出来たと思う点	改善が必要と思う点
Section 3 合計	/	50	換算点レンジ (-)	*換算点レンジは91ページ参照 (印刷して使用する場合もあるため、自動計算ではありません。)
TOTAL	/	140	換算点レンジ (-)	

法学部が、AO 入試Ⅱ期合格者として今のうちに行っておくことをお勧めするもの

(ただし、いずれも、費用は皆さん自身に負担してもらうほか、選択も進め方も皆さんの自主性に委ねられます)

1. 英語の継続学習

是非行ってほしいとしたテキスト(『完全攻略！TOEFL ITP テスト』)だけでは、法学部の AO 入試Ⅱ期に合格する実力を既に持っている皆さんには少々物足りないかもしれません。そこで、一つの方法として、この種の英語学習を継続することをお勧めします。

例えば、TOEFL の模試を多くこなしたい方向きのものとして、

★『完全攻略！TOEFL ITP テスト 模試 4 回分〔改訂版〕』(ワーデン, ヒルキ, 藤井著, アルク社)といったものがあります。

また『完全攻略！TOEFL ITP テスト』の 15 頁以下を参考にして、「TOEFL の本試験である iBT (Internet-Based Testing)」(同上書 20 頁)の受験勉強を今から始めることもお勧めです。

さらに、英語のリスニング向上及び法学・政治学に関連する英語の専門用語になれるために、TED Talks (<https://www.ted.com/talks>) の視聴をお勧めします。TED Talks は様々な分野の専門家や有名人が、最近のトピックスや自身の活動について、18 分以内に分かりやすく、面白く講演するプラットフォームです。まずは関心のあるテーマから視聴し、慣れてきたらテーマを「法」や「政治」に設定し、視聴することをお勧めします。聞きづらいところは、transcript をみながらでも視聴できます。

英語の習熟度別クラス編成について

大学入学共通テスト自己採点結果のうち英語の点数、または入学前教育で実施した TOEFL 模擬テストの点数は、英語の習熟度別クラス編成の参考にします。

2. 入学前海外研修(High School Bridging Program)

東北大学では、例年、本学に入学が決まった高校生を対象とした短期海外研修プログラムを提供しています。今年度は、下記 URL のとおり入学前海外研修プログラムが実施されます。受講料以外の費用は自己負担となりますが、関心がある人は、以下の URL より WEB サイトをご確認願います。

※入学前海外研修プログラム及び入学前研修プログラム(国内)のご案内
(<https://www.insc.tohoku.ac.jp/japanese/studyabroad/training/tubridge/>)

なお、入学前海外研修プログラムの事前・事後研修を含む全ての研修に参加した学生が単位の認定を希望する場合は、学修成果を評価の上、入学後に2単位を取得できる場合があります。

3. 大学入学共通テストの受験

既に合格を決められた皆さんが大学入学共通テストを受験する必要はないわけですが、しかしあえてこれに備えたうえで真剣に受験することは、高校での未履修分野の隙間を埋めるだけに留まらない、積極的な意義があります。また、皆さんの周りの学友の多くがこの大学入学共通テスト受験に向けて必死の努力を続けているなかで、合格が決まったといっても皆さんがどんな学びの態度をとることがふさわしいか、これも言われるまでもないでしょう。皆さんにとって一つの非常に有意義な継続学習の目標として、大学入学共通テストを本気で受験することは、強くお勧めしたい方法です。

4. これからの学びに有益と思われる図書の講読

国内の地域社会からグローバル社会にわたる法的・政治的諸問題への関心を強く持つ皆さんは、既に様々な図書に触れられていることと思いますが、今後も、図書をじっくりと読んで自らの関心をさらに広めまた深めていくことは大変重要です。

そのためには、皆さんが現在持っている関心事とは必ずしも重ならないかもしれませんが、しっかりした内容がある、例えば次のような図書のいくつかを選んで読んでみてはいかがでしょうか。

多くの図書を並べてみましたが、皆さんはあまり無理することなく、今の関心に近そうなもの、あるいはとりあえず易しそうなものから取り組みれば今は十分です。このリストは、学部に入學した後にも、皆さんの学びを大いに助けてくれるものになることは請け合いです。

以下のリストは順不同です。もしかすると、現在入手が難しかったり、出版元が変わったりしているものがあるかもしれません。しかし、様々な図書館に当たればほとんどのものは手にすることができるでしょう。

推薦図書の例：

①これから大学で学ぶために

- ・野矢茂樹『論理トレーニング101題』(産業図書)： 他人の主張を冷静に論理的に受け止めて理解し、批判する能力を鍛えることを目的としています。高校までの国語の授業では必ずしも厳密に論理的に議論を理解する能力を集中的に鍛えることはない一方、入学後にはそうした能力が早い段階から必要とされます。その為の基礎力を養う方法の一つです。
- ・小林康夫・船曳建夫『知の技法』(東京大学出版会)： 大学で学ぶということはどういうことなのでしょう。様々な専門分野を持つ研究者が、具体的な学術テーマを設定しながら、凡そ学問をするというときに必要な基本的な技術を解説しています。様々な分野の学問的成果を楽しむ目的で読むものとしても刺激的です。
- ・吉永一行編『法学部入門[第4版]』(法律文化社)： 本学の教員が編者となっている本です。法学部で何を、どう学ぶかということを解説しています。高校までの勉強と大学までの勉強は何が違うのだろうか、と期待(と不安)を持っている皆さんには、是非読んでいただきたいと思います。

②英語の文献に触れてみたいときに

- ・気楽に英語の原書を読みたい方には、法学・政治学に差当り関係はありませんが、J. R. R. Tolkien, *The Hobbit* (瀬田貞二訳『ホビットの冒険』(岩波少年文庫))はいかがでしょう。もっと大作に挑戦したい人には、J. R. R. Tolkien, *The Lord of the Rings* (瀬田貞二訳『指輪物語』(評論社))。原書を回避したい人は、翻訳だけでも是非。時間がある時に大きなものを読むことはとてもいいことです。
- ・Inazo Nitobe, *Bushido: The Soul of Japan* (日英対訳を含め様々なバージョンがあります)：幕末の盛岡に生まれ、後に国際連盟事務次長を務めた新渡戸稲造による名著。日本人の道徳観の核心となっている「武士道」について、西欧の哲学や騎士道と対比しながら世界に向けて解説した本書は、各国語に訳され、今なお読み継がれています。
- ・Christian Reus-Smit, *International Relations: A Very Short Introduction*, Oxford University Press, 2020：オックスフォード大学出版局の Very Short Introductions シリーズの一冊。実際は Short ではなく、150 頁ほどありますが、国際関係論について、理論の重要性、戦争、経済、人権といった主要なテーマの解説など、一貫した視点で書かれた入門書です。
- ・Ian Goldin, *Development: A Very Short Introduction*, Oxford University Press, 2018：オックスフォード大学出版局の同じシリーズから出ている、開発問題に関する入門書。グローバル化、豊かな国と貧しい国の格差、持続可能な開発などのテーマについて、第一線の著者が論じています。
- ・John Henry Merryman and Rogelio Pérez-Perdomo, *The Civil Law Tradition: An Introduction to the Legal Systems of Europe and Latin America*, Stanford University Press, 4th ed., 2018：日本法も明治以来強い影響を受けている、主として西欧に根付いている法体系について、その基礎にある共通のものの考え方について、いくつかの法分野・法学的領域に分けて記述されています。叙述の対象となった法体系の外からの目で記述されていることは、法学初学者として読む際の助けになるかもしれません。
- ・Law: A Very Short Introduction (3rd edition) [著者:Raymond Wacks]
特に国際コースに興味があり、英語での法学関連科目を受けてみたい学生へお勧めです。英語の法律用語に触れるだけでなく、法学の基礎について楽しく学べる本です。

③法律学の文献に触れてみたいときに

- ・川島武宜『日本人の法意識』(岩波新書)：明治期に西欧諸国から輸入されたわが国の法制度と現実の国民生活とのあいだのずれという問題を「法意識」という観点から追求します。単なる法学書にとどまらず、広く一般にも読まれた本書、刊行から 50 年以上経った今でも、考えさせられるところがあるのではないのでしょうか。
- ・木庭顕『誰のために法は生まれた』(朝日出版社)：ある教授が実際に中高生を対象に行った授業を書籍化したものです。法学部で学ぶことになる「法」とは一体何の為に生まれたのか、ということ、映画や演劇、実際に起こった事件を素材にしながら学んでいきます。法の中身というよりも、法が相手取ろうとしている社会現象とは何か、を扱っています。

- ・道垣内弘人『ブレップ法学を学ぶ前に〔第2版〕』（弘文堂）：法科大学院の未修者コースの学生の入門のために書かれた本で、これから法律を学習する際に知っておくとよいと思われるエッセンスが詰まっています。読みやすい文体・分量なので、入門としてお勧めです。
- ・道垣内正人『自分で考えるちょっと違った法学入門〔第4版〕』（有斐閣）：ユニークな問題について考えつつ、法学における基本的な考え方を学んでいく入門書。「法律学に正解はない」、まずは自分の頭で考えてみるのが、今後の学習にきつとつながることでしょう。
- ・森田果『法学を学ぶのはなぜ？』（有斐閣）：本学の教員が著者となっている本です。具体例に沿いながら、法律以外の身近なルールも含めた「法」の意義・機能・使い方や、法学と他の学問領域との違いについて学ぶことができます。主に高校生をターゲットとした、とても読みやすい入門書です。

④政治学の文献に触れてみたいときに

- ・アセモグル／ロビンソン『国家はなぜ衰退するのか―権力・繁栄・貧困の起源』上・下（ハヤカワ・ノンフィクション文庫）：多くの歴史的事例を交えつつ、経済的に裕福な国と貧しい国との間にある違いについて、政治・経済の仕組みや法制度の重要性という観点から論じ、一大論争を巻き起こした注目の書です。
- ・飯尾潤『日本の統治構造―官僚内閣制から議院内閣制へ』（中公新書）：現代日本政治の特徴を、現代政治学の基本概念を用いながら多角的に分かりやすく論じたものです。
- ・E. H. カー『危機の二十年』（岩波文庫）：国際政治学の古典的名著です。戦間期のヨーロッパを舞台に展開した理想主義と現実主義の相克を、バランスよく客観的に論じています。
- ・鹿子生浩輝『マキアヴェッリ―『君主論』をよむ』（岩波新書）：『君主論』の著者として知られている第一級の政治思想家マキアヴェッリ。彼の思想は何世紀にもわたって誤解されてきましたが、彼が実際にその著作で伝えたかったことは何か。本学の教員がマキアヴェッリの生きた時代を踏まえながら、その意図を丁寧に読み解いた入門書です。
- ・久米郁男『原因を推論する―政治分析方法論のすゝめ』（有斐閣）：現代社会科学における中心的な問題設定の1つである「因果的推論」とその検証方法の基本的考え方について、初学者にもわかりやすく丁寧に論じた好著です。
- ・丸山眞男『超国家主義の論理と心理 他八篇』（岩波文庫）：戦後日本を代表する政治学者・丸山眞男の短編集です。雑誌『世界』に発表された表題作をはじめとして、いずれの論文も当時の論壇に大きな影響を与え、しかも普遍的なメッセージを含んでいます。現代日本政治を考察するうえでも大いに参考になるでしょう。

※なお、政治学の文献についてさらに読みたい場合には、下記のサイトの「合格者にお勧めする政治学系の文献」を参照してください。

http://www.law.tohoku.ac.jp/forenrollment/book_list/

高大連携科目等履修生（AO 入試Ⅱ期等合格者）の MOOC 授業科目の履修について

1. MOOC 授業科目

東北大学 MOOC（Massive Open Online Courses：大規模公開オンライン講座）の講座を本学の授業科目として開講しており、入学前教育において履修するものです。

第4クォーターに開講している次の3科目が履修可能です。

- ・「**解明：オーロラの謎**」0.5 単位、講義コード：CB88233

（下記 URL シラバス参照）

<https://qsl.cds.tohoku.ac.jp/qsl/syllabus/display/cb88233-2024>

- ・「**東日本大震災の教訓を活かした実践的防災学**」0.5 単位、講義コード：CB88234

（下記 URL シラバス参照）

<https://qsl.cds.tohoku.ac.jp/qsl/syllabus/display/cb88234-2024>

- ・「**自己理解の心理学**」0.5 単位、講義コード：CB88237

（下記 URL シラバス参照）

<https://qsl.cds.tohoku.ac.jp/qsl/syllabus/display/cb88237-2024>

2. 授業について

- ・本授業はオンデマンド授業です。東北大学の ISTU/DC（ISTU on the Digital Campus）システムを利用して履修します。
- ・履修期間（学習可能期間）は、2024 年 11 月 26 日（火）9:00～2025 年 1 月 24 日（金）17:00 までです。確認クイズや最終課題は、1 月 24 日（金）17:00 が締め切りになります。特に受講ペースは指定しませんが、1 月 24 日（金）17:00 までに確認クイズや最終課題等の課題提出を終えられるように各自のペースで進めてください。
- ・1 月 24 日（金）17:00 から 2 月 3 日（月）までは、引き続き授業アンケートの回答可能期間であるとともに、最終課題の正答を開示する期間としています。
- ・履修した授業科目の成績は、学生用ポータルサイトの「学務情報システム（「成績照会」）」で確認できます。2 月 14 日（金）以降に確認できる予定です。後述の「**4. 成績の確認**」を参照してください。
- ・教育学部、医学部医学科においては、修得した単位は、本学に入学した場合、本学において修得したものとして認められます。
その他の学部においては、各学部の資料に従い、履修してください。

3. 履修方法

ISTU/DC システムの学生用オンラインガイドを参照してください。

https://www.dc.tohoku.ac.jp/online_guide/istu4g/

- (1) 別紙「東北大 ID 確認ページについて」を参照し、東北大 ID・パスワードを確認してください。必要な設定等を先に終了してください。
- (2) インターネットに接続可能なコンピュータにおいてウェブブラウザを起動し、「東北大学教育系情報システムオンラインガイド」にアクセスします。
<https://www.dc.tohoku.ac.jp/guide/istu/istu4g.html/>
- (3) 「ISTU/DC システム (ISTU)」をクリックします。
- (4) 「2. 接続方法とログイン」の内容を確認し、「2.1 ログイン」→「Step1」「ISTU/DC システム」(黄色文字)をクリックしてログインしてください。
パスワード認証に加えて多要素認証が必要です。多要素認証は、学生用電子メール (DCMail) によるワンタイムパスワード認証が初期登録されていますので、こちらを利用してログインしてください。
詳細はオンラインガイド参照：<https://sites.google.com/tohoku.ac.jp/oids-out/sso>
- (5) マイページに授業科目が表示されているので、授業科目をクリックして受講をはじめてください。
講義ビデオを視聴し、確認クイズ・最終課題に取り組んでください。

【注意事項】

・講義ビデオを視聴する際は、スキップ等はせずに視聴してください。スキップ等をする、履修したとみなされませんので、ご注意ください。(一通り視聴した講義ビデオについては、繰り返し視聴などでスキップしても問題ありません。)

・確認クイズ・最終課題は、受験中にブラウザを閉じないように注意し、提出(送信)まで終えるようにしてください。受験中にブラウザを閉じると、再アクセスしても受験を継続できなくなります。

4. 成績の確認

履修した授業科目の成績は、学生用ポータルサイトの[学務情報システム「成績照会」]で確認できます。2月14日(金)以降に確認できる予定です。

- (1) Single Sign-On (下記 URL) でログインし、学務情報システムにアクセスします。
※多重認証については当案内の「3. 履修方法」をご確認ください。

<https://slink.seciooss.com/user/index.php?tenant=auth.tohoku.ac.jp>



- (2) 学務情報システム画面上部青帯下の「資格・成績」タブをクリックし、
「成績」－「成績照会」をクリックすると、成績を確認できます。

2024 年 11 月

東北大学教育・学生支援部教務課教務係
kyom-g@grp.tohoku.ac.jp



シラバスの表示

解明：オーロラの謎

集中講義. 単位数／Credit(s): 0.50単位. 担当教員（所属）／Instructor (Position): 中島 平（教育学研究科）、八木 秀文（オープンオンライン教育開発推進センター）、他. 対象学部／Object: 全. 開講期／Term: 1 年次以上第 4 クォーター. 科目群／Categories: 全学教育科目先進科目-カレント・トピックス科目. 履修年度: 2024. 科目ナンバリング／Course Numbering: ZAE-OAR801J. 使用言語／Language Used in Course: 日本語.

科目コード

CAB018400

科目名／Subject

解明：オーロラの謎

教室／Place

オンライン

メディア授業科目／Course of Media Class

○

主要授業科目／Main Subjects

各学部の履修内規または学生便覧を参照。

授業題目／Class Subject

【東北大学MOOC】解明：オーロラの謎

【Tohoku University MOOC】Mystery of Aurora

学習の到達目標／Goal of Study

講義ビデオ毎に設定されている学習目標に到達するよう学修し、各回の講義内容についてその概要を説明できるようになる

授業内容・方法と進捗予定／Contents and Progress Schedule of the Class

【授業内容】

第 1 回：オーロラの不思議

第 2 回：活動する太陽

第 3 回：惑星のオーロラ

第 4 回：望遠鏡と探査機で探るオーロラ

【授業進捗について】

特に受講ペースは指定しないが、締め切り日までに課題類の提出を終えられるように各自のペースで進めること

成績評価方法／Evaluation Method

確認クイズ、最終課題、学修の取り組み状況（講義ビデオ視聴状況等の学習履歴）を総合的に評価する

※全ての講義ビデオの視聴が単位認定の前提となります。

全ての講義ビデオについて、学期末に視聴履歴を確認します。

ビデオの途中で再生箇所を飛ばしたり、最後まで視聴しないなどして部分的に視聴したことにより、

視聴完了率が最低基準に達していない場合、単位を付与しません。



Completion of viewing all videos is a prerequisite for evaluation.

A viewing history of all lecture videos will be checked at the end of each semester.

If a student skips a part of a video and does not reach the minimum completion rate, he/she will not receive credit.

If the completion rate does not meet the minimum standard, no credit will be given.

授業時間外学習／Preparation and Review

本シラバスの「その他」の項、もしくは、講義ビデオ内で引用されている文献を読み、本授業に関する考察を深める。

授業へのパソコン持ち込み【必要/不要】

【必要】本授業はオンデマンド授業（ISTU）です。対面授業は行いませんが、ISTUで受講できる通信環境と端末が必要です。

【Yes】

This class is an on-demand class (ISTU). We do not offer face-to-face classes, but you need a internet connection and a computer terminal/device that allows you to take ISTU classes.

その他／In Addition

下記は授業で推奨している参考図書です。時間外学修として読み、考察を深めること。

- 『太陽地球圏』(小野高幸・三好由純著、共立出版、2012年)
- 『総説 宇宙天気』(共著柴田一成・上出洋介 編著、京都大学学術出版会、2011年)
- 『太陽地球系科学』(共著地球電磁気・地球惑星圏学会 学校教育ワーキング・グループ 編、京都大学学術出版会、2010年)
- 『宇宙空間物理学』(大林辰蔵 著、裳華房、1970年)

🔗 これに関連したシラバス

🔍 学務情報システムで確認

このシラバスを共有

Post

LINEで送る

© 2018, 2019, 2024 [Center for Data-driven Science and Artificial Intelligence](#)

Digital Campus Project, Tohoku University.

All Rights Reserved.

[Troubleshoot](#) | [Terms & Policies](#)



シラバスの表示

東日本大震災の教訓を活かした実践的防災学

集中講義. 単位数／Credit(s): 0.50単位. 担当教員（所属）／Instructor (Position): 中島 平（教育学研究科）、八木 秀文（オープンオンライン教育開発推進センター）、今村 文彦（災害科学国際研究所）、佐藤 翔輔（災害科学国際研究所）. 対象学部／Object: 全. 開講期／Term: 1 年次以上第 4 クォーター. 科目群／Categories: 全学教育科目先進科目-カレント・トピックス科目. 履修年度: 2024. 科目ナンバリング／Course Numbering: ZAE-OAR801J. 使用言語／Language Used in Course: 日本語.

科目コード

CAB018401

科目名／Subject

東日本大震災の教訓を活かした実践的防災学

教室／Place

オンライン

メディア授業科目／Course of Media Class

○

主要授業科目／Main Subjects

各学部の履修内規または学生便覧を参照。

授業題目／Class Subject

【東北大学MOOC】東日本大震災の教訓を活かした実践的防災学
【Tohoku University MOOC】Action oriented Research on Disaster Science

学習の到達目標／Goal of Study

講義ビデオ毎に設定されている学習目標に到達するよう学修し、各回の講義内容についてその概要を説明できるようになる

授業内容・方法と進度予定／Contents and Progress Schedule of the Class

【授業内容】

- 第 1 回：東日本大震災前の取組と被害実態—事前対策と事に対応
- 第 2 回：被災地での復旧と復興—人間・社会科学的な側面
- 第 3 回：地震・津波のメカニズムと履歴・将来予測—自然科学と防災への役割
- 第 4 回：実践的な防災学と国際防災戦略—次への備え

【授業進度について】

特に受講ペースは指定しないが、締め切り日までに課題類の提出を終えられるように各自のペースで進めること

成績評価方法／Evaluation Method

確認クイズ、最終課題、学修の取り組み状況（講義ビデオ視聴状況等の学習履歴）を総合的に評価する

※全ての講義ビデオの視聴が単位認定の前提となります。
全ての講義ビデオについて、学期末に視聴履歴を確認します。
ビデオの途中で再生箇所を飛ばしたり、最後まで視聴しないなどして部分的に視聴したことにより、視聴完了率が最低基準に達していない場合、単位を付与しません。



efforts (learning history such as viewing status of lecture videos).

Completion of viewing all videos is a prerequisite for evaluation.

A viewing history of all lecture videos will be checked at the end of each semester.

If a student skips a part of a video and does not reach the minimum completion rate, he/she will not receive credit.

If the completion rate does not meet the minimum standard, no credit will be given.

授業時間外学習／Preparation and Review

本シラバスの「その他」の項、もしくは、講義ビデオ内で引用されている文献を読み、本授業に関する考察を深める。

授業へのパソコン持ち込み【必要/不要】

【必要】本授業はオンデマンド授業（ISTU）です。対面授業は行いませんが、ISTUで受講できる通信環境と端末が必要です。

【Yes】

This class is an on-demand class (ISTU). We do not offer face-to-face classes, but you need a internet connection and a computer terminal/device that allows you to take ISTU classes.

その他／In Addition

下記は授業で推奨している参考図書です。時間外学修として読み、考察を深めること。

- 「東日本大震災を分析する1－地震・津波のメカニズムと被害の実態－」平川新、今村文彦、東北大学災害科学国際研究所 編著，明石書店，2013
- 「東日本大震災を分析する2－震災と人間・まち・記録－」平川新、今村文彦、東北大学災害科学国際研究所 編著，明石書店，2013
- 「防災教育の展開 (シリーズ・防災を考える)」今村文彦 編，東信堂，2011
- 「巨大津波 地層からの警告」日本経済新聞出版社(2014年) 後藤和久 著
- 「わかる！取り組む！災害と防災 2 津波」今村文彦・佐藤翔輔・サッパシー アナワット・日野亮太，帝国書院，2017
- 「災害フィールドワーク論（FENICS 100万人のフィールドワーカーシリーズ5）」木村周平・杉戸信彦・柄谷友香編，古今書院，2014

🔗 これに関連したシラバス

🔍 学務情報システムで確認

このシラバスを共有

Post

LINEで送る

© 2018, 2019, 2024 [Center for Data-driven Science and Artificial Intelligence](#)

Digital Campus Project, Tohoku University.

All Rights Reserved.

[Troubleshoot](#) | [Terms & Policies](#)



シラバスの表示

自己理解の心理学

集中講義. 単位数／Credit(s): 0.50単位. 担当教員（所属）／Instructor (Position): 中島 平（教育学研究科）、八木 秀文（オープンオンライン教育開発推進センター）. 対象学部／Object: 全. 開講期／Term: 1 年次以上第 4 クォーター. 科目群／Categories: 全学教育科目先進科目-カレント・トピックス科目. 履修年度: 2024. 科目ナンバリング／Course Numbering: ZAE-OAR801J. 使用言語／Language Used in Course: 日本語.

科目コード

CAB018410

科目名／Subject

自己理解の心理学

教室／Place

オンライン

メディア授業科目／Course of Media Class

○

主要授業科目／Main Subjects

各学部の履修内規または学生便覧を参照。

授業題目／Class Subject

【東北大学MOOC】自己理解の心理学

【Tohoku University MOOC】Psychology of Self-understanding

学習の到達目標／Goal of Study

講義ビデオ毎に設定されている学習目標に到達するよう学修し、各回の講義内容について実践を通して生活に落とし込むレベルで理解するとともに、その概要を説明できる

授業内容・方法と進度予定／Contents and Progress Schedule of the Class

【授業内容】

- 第 1 回：自己理解とは何か
- 第 2 回：自分の性格を知る
- 第 3 回：自分の性格を詳しく知る
- 第 4 回：自己実現を超えて

【授業進度について】

特に受講ペースは指定しないが、締め切り日までに課題類の提出を終えられるように各自のペースで進めること。特に最終課題には時間と労力がかかることを心に留めておく。

成績評価方法／Evaluation Method

確認クイズ、最終課題、学修の取り組み状況（講義ビデオ視聴状況等の学習履歴）を総合的に評価する

※全ての講義ビデオの視聴が単位認定の前提となります。

全ての講義ビデオについて、学期末に視聴履歴を確認します。

ビデオの途中で再生箇所を飛ばしたり、最後まで視聴しないなどして部分的に視聴したことにより、



Grades are determined by a comprehensive evaluation based on confirmation quizzes, final assignments, and learning efforts (learning history such as viewing status of lecture videos).

Completion of viewing all videos is a prerequisite for evaluation.

A viewing history of all lecture videos will be checked at the end of each semester.

If a student skips a part of a video and does not reach the minimum completion rate, he/she will not receive credit.

If the completion rate does not meet the minimum standard, no credit will be given.

授業時間外学習／Preparation and Review

本シラバスの「その他」の項、もしくは、講義ビデオ内で引用されている文献を読み、本授業に関する考察を深める。

授業へのパソコン持ち込み【必要/不要】

【必要】本授業はオンデマンド授業（ISTU）です。対面授業は行いませんが、ISTUで受講できる通信環境と端末が必要です。

【Yes】

This class is an on-demand class (ISTU). We do not offer face-to-face classes, but you need a internet connection and a computer terminal/device that allows you to take ISTU classes.

その他／In Addition

下記は授業で推奨している参考図書です。時間外学修として読み、考察を深めること。

- 「タイプ論」カール・グスタフ・ユング、林道義 訳、みすず書房、1987年
- 「ユング心理学入門」河合 隼雄、培風館、1967年
- 「人間性の最高価値」A・H・マズロー、上田 吉一 訳、誠信書房、1973年
- 「マズロー心理学入門」中野明、アルテ、2016年
- 「insight」ターシャ・ユーリック、中竹竜二・樋口武志 訳、英治出版、2019年
- 「サーチ・インサイド・ユアセルフ」チャディー・メン・タン、柴田裕之 訳、英治出版、2016年
- 「ブッダの真理のことば 感興のことば」中村元、岩波書店、1978年
- 「問答 井上義行老師 悟りの真相」龍泉寺参禅道場、2019年
- 「新瞑想法入門」OSHO、市民出版社、1999年

🔗 これに関連したシラバス

🔍 学務情報システムで確認

このシラバスを共有

Post

LINEで送る

© 2018, 2019, 2024 [Center for Data-driven Science and Artificial Intelligence](#)

Digital Campus Project, Tohoku University.

All Rights Reserved.

[Troubleshoot](#) | [Terms & Policies](#)

東北大学AO入試Ⅱ期合格者のみなさん

入学前ライティング演習についてのお知らせ

東北大学では、AO入試Ⅱ期に合格した方を対象に、入学後の日本語ライティングの準備教育として、入学前ライティング演習を開講しています（歯学部、農学部は全員が対象。他の学部は希望者のみが対象）。実施の概要は下記のとおりです。

記

1) プログラムの目的：

受講者のみなさんが、高校までの作文・小論文と大学で必要なライティングの異同を認識し、研究倫理の基本を理解して、入学後のライティング学習にスムーズに入れるようにすることが目的です。

2) 実施期間（受講期間）：

2025 年 1 月 24 日（金）～2025 年 2 月 28 日（金）

3) 実施方法：

- ① 入学前ライティング演習には、Aコース（教材を用いて学習し、「確認テスト」を受験）と Bコース（Aコースの内容プラス 800 字程度の「課題作文」）があります。受講希望者はどちらかのコースを選び、12 月 20 日（金）までに Google フォームで受講を申し込みます。なお、Bコースには定員（150 名）があり、先着順で受け付けます。
- ② 受講申込者に選択したコースの Google Classroom への招待リンクが送られます。
- ③ 両コースの受講者は Google Classroom 上の教材を用いて、受講期間中都合のよい時間に学習します。使用教材の詳細については、1 月 24 日（金）にお知らせします。
- ④ 受講者は③の学習が終わった時点で Google Forms による「確認テスト」に回答します。回答の期限は 2 月 28 日です。答案は自動的に採点され、解説とともに受講者に返信されます。
- ⑤ Bコースの受講者には、「課題作文」（800 字程度）を出題します。「課題作文」の詳細については、1 月 31 日（金）にお知らせします。提出期限は 2 月 28 日（金）です。提出した作文は 3 月 19 日（水）までに添削して返却されます。
- ⑥ プログラム終了後、2 回のアンケートを実施します。1 回目は 3 月に、2 回目は大学入学後、第 1 学期が終了した 8 月の時点で行います。

【受講申し込みの方法】

同封する「東北大学 ID 確認ページについて」を参照し、東北大学メールアドレスを確認してください。その上で、AコースとBコースのどちらかを選び、以下のリンクから Google フォームで受講を申し込んでください。受講を申し込む際は、個人のアドレスではなく、東北大学メールアドレスを入力し、提出してください。

Aコース：<https://forms.gle/ny1szyaWF32ZZgRCA>

Bコース：<https://forms.gle/w7eyFP98tEjMSniS6>

Aコース



Bコース



東北大 ID 確認ページについて※AO 入試Ⅱ期等合格者用(2025 年 4 月入学)

<重 要>

AO 入試Ⅱ期等合格者は、本案内文を参照し、2024 年 12 月 31 日までに、合格通知書に記載の仮 ID とパスワードにより、必ずご自身の東北大 ID 等を確認してください。

- ・ 本案内で確認する **東北大 ID、DCMail アドレス等は、入学後の 2025 年 4 月以降も継続して使用**します。
- ・ したがって、**東北大 ID とパスワード、DCMail アドレスとパスワード等については必ず控えておいてください (パスワード変更を行った場合も同様です)**。なお、パスワード変更を行った場合、以後は変更後のパスワードを使用してください。
- ・ **学籍番号は、2025 年 4 月から、学部学生の新たな学籍番号に変更**となります。**2025 年 3 月 31 日以降に、再度下記 1 の「東北大 ID 確認ページ」にアクセス (合格通知書に記載の仮 ID とパスワードによる)**し、学部学生の新たな学籍番号及び Microsoft365 に関する情報を確認してください。

本学の全学生に配布するユーザ認証情報 (ID) は下表の通りです。

11 月 30 日以降に「東北大 ID 確認ページ」にアクセスし、各 ID と初期パスワード等を確認してください。また、忘れないように各自でメモ・印刷等を行い、大切に保管してください。

12 月 1 日 AM 8:30 (JST)以降、東北大 ID を利用して学生用電子メール (DCMail) の設定も行ってください。

東北大 ID	学内で全学生向けに提供されている様々な情報サービスにおける共通のユーザ ID です。 *注 一部システムでは学籍番号 ID を利用します。
サブ ID	サブ ID@student.tohoku.ac.jp を Wi-Fi 用 ID として利用します。
Google Workspace 用 ID	Google 社のサービス (Gmail / Drive / Meet / Classroom など) で利用します。Google Workspace で提供しているメールサービスのことを学生用メールサービス (DCMail) と呼んでいます。

東北大 ID 等の確認手順

確認期間：**11 月 30 日 ~ 12 月 31 日 まで**

1. 東北大 ID 確認ページにアクセスするための仮 ID とパスワードは以下の通りです。

仮 ID	受験記号番号
パスワード	合格通知書に記載されている「入学手続きサイト用パスワード」です。

※ 上記の仮 ID とパスワードは、**12/31**で一旦使用できなくなりますが、**3/31 以降に、再度「東北大 ID 確認ページ」に、合格通知書に記載の仮 ID とパスワードでアクセスし、学部学生の新たな学籍番号及び Microsoft365 に関する情報を確認してください。**

合格通知書または同封資料
仮 ID (受験記号番号)：****
入学手続きサイト用 PW：●●●●
(東北大 ID 確認用 PW)

2. 東北大 ID 確認ページにアクセスし、上述の 1 で確認した ID・パスワードでログインしてください。

<https://www.bureau.tohoku.ac.jp/i-synergy/conid/>



東北大 ID 確認ページ
Confirmation page of Tohokudai ID

仮 ID (受験記号番号) [仮 ID 入力欄]
パスワード [パスワード入力欄]

☐ 仮 ID とパスワードを入力してログインする。
☐ ログインする前にパスワードを変更する。
Please check the box to login.

[ログイン]

※当ページはイメージです。

3. ログイン後のページで、ご自身の東北大 ID と初期パスワード等を確認し、メモ・印刷等を行い、大切に保管してください。

※ 東北大 ID の使い方等について、当該ページにリンクを掲載しますので確認してください。

※ パスワード変更前に裏面の DCMail の初期設定をお願いします。DCMail によりパスワードを忘れた場合の再設定が可能になります。

東北大 ID 確認ページ
Confirmation page of Tohokudai ID

仮 ID とパスワードを確認し、正しいかどうかを確認してください。
The user authentication information (ID, password) is correct or not.

仮 ID (受験記号番号) [仮 ID 入力欄]
パスワード [パスワード入力欄]

☐ 仮 ID とパスワードを確認し、正しいかどうかを確認してください。
☐ ログインする前にパスワードを変更する。
Please check the box to login.

[ログイン]

※当ページはイメージです。

初期パスワードはなるべく速やかに独自のものに変更してください。

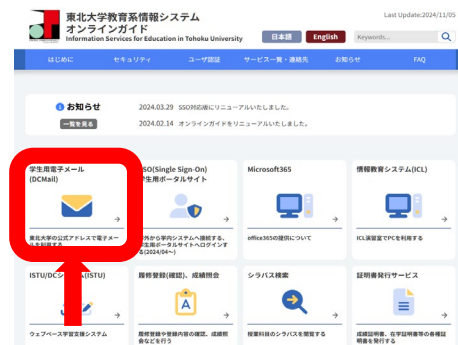
学生用電子メール (DCMail) の初期設定・利用設定

設定期間：12月1日 AM 8:30 (JST) 以降

東北大学教育系情報システムオンラインガイドにアクセスし、「学生用電子メール (DCMail)」の項目を参照して、サイトにアクセスしてください。



<https://www.dc.tohoku.ac.jp/guide/>



学生用電子メール(DCMail)

(補足：他の主なシステム)

- ◆ **東北大学 Single Sign-On**：統合電子認証システムや学務情報システム等の学生向けに提供されている様々な情報サービスへのシングルサインオンを行うリンク集になっています。東北大学 Single Sign-On は、学外からのアクセスの場合 DCMail を使用した多要素認証によるアクセスとなります。
- ◆ **統合電子認証システム**：東北大 ID を管理しているシステムです。主に以下の操作が可能です。「東北大学 Single Sign-On」の「System」タブから「統合電子認証システム」にアクセスしてください。
 - 東北大 ID パスワードの変更
 - サブ ID の確認または変更、サブ ID パスワードの変更
 - DCMail の全学メールアドレス及び初期パスワードの確認、別名アドレスの設定・変更
 - Google Workspace の初期パスワードの確認

※ Microsoft365 に関する情報は、2025 年 3 月 31 日以降に確認してください。
- ◆ **パスワード初期化**：FAQ (<https://www.dc.tohoku.ac.jp/faq/>) 内に記載しております。

(注意点)

東北大 ID などのユーザ ID やそれらに付随するパスワードは各個人の大切な秘密情報です。自分以外の他人に知られることがないよう厳重に保持・管理してください。

- ・ 自分の ID やパスワードを、たとえ親しい友人であっても、他人に教えてはいけません。
- ・ 悪意があると疑われるサイトに自分の ID やパスワードを入力してしまった、あるいはその恐れがある場合には、できる限り速やかに、データ駆動科学・AI 教育センター (<https://www.cds.tohoku.ac.jp/inquiry/>) までご連絡ください。

<お問い合わせ先>

東北大 ID 確認ページに関すること

東北大学 情報部 デジタル変革推進課

Email : auth-system@grp.tohoku.ac.jp

東北大学教育系情報システムオンラインガイドに関すること

下記の「サービス一覧・連絡先」をご参照ください (上部青帯内)。

<https://www.dc.tohoku.ac.jp/guide/contact.html>